

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ちくし永岡の里

## 目標達成計画

作成日：平成 22年 9月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	市町村との連携	行政に報告や相談をするだけでなく、地域における介護サービスの質の向上と、介護相談事業を市町村と協働で実施していきたい。	運営推進会議を通じて、委員に働きかけ、地区公民館を利用させてもらい、地域で介護相談事業を定期的開催していきたい。	12ヶ月
2	14	人権教育・啓発活動	行政等が主催する人権研修に参加し、職員に啓発していく。	外部研修を職員が交代で受講し、内部で研修し、研修記録を作成し、人権教育・啓発活動を職員が理解し、共有していく。	12ヶ月
3	22	馴染みの人や場との関係継続の支援	家族、親戚、友人が、ホームに来所されることが多く、利用者と馴染みの人や場との関係継続までは出来ていないので、家族と相談し、関係継続の支援をしていく。	日常的に、利用者の履歴、環境、人間関係を把握し、家族と相談し、出来ることから実践していく。	12ヶ月
4	37	災害対策	消防署の指導で、避難訓練を実施しているが、今後は、地域住民の協力を得て、避難訓練を実施していく。	地域住民参加の夜間想定した、避難訓練の実施を運営推進会議に諮り、協力をお願いをしていく。また、非常災害に備え、非常食、飲料水の備蓄を準備する。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。